樹木

あ せ び

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに、巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキの項を参照する。
トサカグンバイ	1. 5月～10月まで継続的に発生する。 2. 樹木類のグンバイムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

い ち ょ う

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
胴 枯 病	1. 夏期に幹の南面地際部をわらなどで被覆する。

い ぬ ま き

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャハマキ、チャノコカクモンハマキ	1. 若齢幼虫のうちに、巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキ、チャノコカクモンハマキの項を参照する。
マキサビダニ	1. 発生期は3月～10月である。 2. 新葉に多く発生する。

いぶき類［かいづかいぶき・はいびゃくしん・ねず・みやまびゃくしん］

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
カイガラムシ類	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は6月～7月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

う つ ぎ 類

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
クワゴマダラヒトリ	1. 幼虫分散前の9月下旬～10月に巣網を除去し処分する。 2. 幼虫発生期は9月～5月である。 3. 樹木類のケムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

か え で 類

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
首垂細菌病	1. 病枝を見つけ次第切り取り処分する。
枝 枯 病	1. 病枝は切り取り処分する。 2. 乾害や凍霜などに遭うと発生しやすいので注意する。
白紋羽病	1. 湿地に発生しやすいので、このような畑での栽培は避ける。 2. 発病地では粗大有機物を施用しないようにする。 3. ミカン等の転換畑に植え付ける場合は、残根などの粗大有機物を除去し熟畑化してから植え付ける。
イラガ類	1. 幼虫発生期は6月～9月である。 2. 樹木類のイラガ類に適用のある殺虫剤がある。
マイマイガ	1. 若齢幼虫期は4月中旬～5月上旬である。 2. 樹木類のマイマイガに適用のある殺虫剤を用いて防除する。

くちなし

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
すす病	1. カイガラムシ類、アブラムシ類を防除する。 2. 排水不良な多湿地で発生しやすいので、このような場所での栽培は避ける。
アヤニジュウシトリバ	1. 幼虫は、蕾や枝内に食入するので捕殺する。 2. 年2～3回発生し、幼虫発生期は5月～8月である。
アオバハゴロモ	1. 剪定をして風通しをよくする。 2. 年1回の発生で、幼虫発生期は5月～8月である。
ツノロウムシ	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は6月～7月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

さかき・ひさかき

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
ホタルガ	1. 若齢幼虫は葉裏にいるので捕殺する。 2. 若齢幼虫で越冬する。 3. 成虫発生期は6月～7月と9月～10月である。
ツバキワタカイガラムシ、ツノロウムシ、ルビーロウムシ	1. 枝に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は6月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

さくら

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
ナシグンバイ	1. 幼虫発生期は6月～10月である。 2. 樹木類のグンバイムシ類に適用のある殺虫剤がある。

さざんか

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
コミカンアブラムシ	1. 幼虫発生期は4月～6月である。 2. 樹木類のアブラムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに、巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキの項を参照する。

さるすべり

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
褐斑病	1. 秋期に落葉上の病原菌が伝染源となるので、落葉は集めて処分する。
すす病	1. カイガラムシ類、アブラムシ類を防除する。 2. 排水不良な多湿地で発生しやすいので、このような場所での栽培は避ける。
サルスベリフクロカイガラムシ、オオワタコナカイガラムシ、ナシカキカイガラムシ	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. サルスベリフクロカイガラムシの1齢幼虫の発生最盛期は第1世代5月中旬、第2世代7月上旬、第3世代8月下旬である。 3. オオワタコナカイガラムシの1齢幼虫は5月に発生する。 4. ナシカキカイガラムシの幼虫は5月～6月に発生する。 5. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

さんごじゅ

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
イラガ類	1. 幼虫発生期はイラガで5月～9月である。 2. 樹木類のイラガ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
モンクキバチ	1. 移動性の少ない害虫なので、被害新枝を切り取って処分する。

しゃくなげ

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキの項を参照する。
ツツジグンバイ	1. 幼虫発生期は5月～10月である。 2. 樹木類のグンバイムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。 3. つつじ類のツツジグンバイに適用のある殺虫剤も使用できる。

す　ぎ

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
ペスタロチア病	1. 発生を見つけたら、病枝は切り取り処分する。 2. 本病は年間を通じて発生する。
黒粒葉枯病	1. 混みすぎた木に発生しやすいので、粗植にし、枝おろしを行う。 2. 本病は年間を通じて発生する。
スギドクガ	1. 老熟幼虫で越冬する。 2. 成虫発生期は5～6月と8～9月である。 3. 樹木類のドクガ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

た け 類

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
セスジノメイガ	1. 幼虫は葉を綴った中にいるので捕殺する。 2. 幼虫発生期は5～6月と8～9月の2回程度である
モウソウタマコバチ	1. 冬期に被害部を除去する。 2. 幼虫発生期は4月である。
タケノホソクロバ	1. ふ化幼虫は葉裏に群生するので、葉ごと除去する。 2. 幼虫越冬する。 3. 幼虫発生期は5月～6月、9月～11月である。 4. 幼虫の体毛は有毒なので触れないようにする。
タケフクロカイガラムシ	1. 発生部位を枝ごと取り除き処分する。 2. 幼虫発生期は5月、7月である。
タケカレハ	1. 幼虫を発見次第、捕殺する。 2. 幼虫発生期は3月～4月、7月～8月である。

つげ類（つげ・くさつげ・いぬつげ）

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
ツゲノメイガ	1. 春、新梢に糸を張って巣を作り内部から食害するため、巣ごと捕殺する。 2. ツゲ、クサツゲに発生する。 3. 幼虫越冬する。若齢幼虫期は5月～6月、9月～10月である。
クロネハイイロハマキ	1. 春、新梢先端部の葉を綴って内部から食害するため、巣ごと捕殺する。 2. イヌツゲに発生する。 3. 幼虫発生期は4月～9月である。
カイガラムシ類	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は以下の通りである。 　チャノマルカイガラムシ：5～6月 　トビイロマルカイガラムシ：4月 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

つ つ じ

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキの項を参照する。
チビコブハダニ、チャノヒメハダニ	1. チビコブハダニは6月～7月、10月、チャノヒメハダニは8月～10月に発生する。 2. チビコブハダニは葉の表に、チャノヒメハダニは葉の裏に主として寄生する。 3. 樹木類のハダニ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

つ ば き 類

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキの項を参照する。

と べ ら

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
す す 病	1. カイガラムシ類、アブラムシ類を防除する。 2. 排水不良な多湿地で発生しやすいので、このような場所での栽培は避ける。
ハゼアブラムシ、モモアカアブラムシ	1. 発生時期は5～6月である。 2. 樹木類のアブラムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
ミカンワタカイガラムシ	1. 幼虫発生期は5～6月、9月である。 2. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
トベラキジラミ	1. 発生時期は4～9月である。 2. 6月頃に多発する。
ツノロウムシ、ルビーロウムシ	1. 枝や幹に固着したロウムシを削り取る。 2. 幼虫発生期は6～7月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

にしきぎ

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
す す 病	1. カイガラムシ類、アブラムシ類を防除する。 2. 排水不良な多湿地で発生しやすいので、このような場所での栽培は避ける。
カメノコロウムシ	1. 枝や幹に固着したロウムシを削り取る。 2. 幼虫発生期は6月上旬～7月上旬である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
有殻カイガラムシ類	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は5月～8月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

ねずみもち

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャハマキ、クロネハイイロハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 茶のチャハマキの項を参照。 3. 幼虫発生期は以下のとおりである。 チャハマキ：4月～10月 クロネハイイロハマキ：5月下旬～9月
ツノロウムシ、ルビーロウムシ	1. 寄生枝を切除処分する。枝や幹に固着したロウムシを削り取る。 2. 幼虫発生期は6月～7月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

はなみずき

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
アメリカシロヒトリ	1. 若齢幼虫は葉を綴って群棲しているので、被害枝を切り取り処分するか捕殺する。 2. 若齢幼虫期は6～7月、8月中旬～9月である。 3. 幼虫発生期に樹木類のアメリカシロヒトリに適用のある殺虫剤で防除する。

はなもも

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
縮葉病 うどんこ病 枝折病	1. 発病のみられた枝や葉は直ちに剪除(せんじょ)し、土中に埋没する。
せん孔細菌病	1. スプリングキャンカーの認められる枝は剪除して処分する。
コスカシバ	1. 3～4月に幼虫を捕殺する。
ナシヒメシンクイ	1. 秋期には枝幹部にバンド巻きをおこない越冬虫を誘引し、2月頃に取り外して焼却する。 2. 心折れは、中から幼虫が脱出しないうちに剪除する。 3. 越冬虫を取り除くため冬期に粗皮削りをおこなう。 4. 枝梢が込みあってくると産卵されやすくなるので、夏季剪定を徹底する。

ひ　ば　類

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
キクイムシ類	1. 衰弱木に寄生するので、樹勢を良好に維持する。 2. 被害を受けた部分は切り取り処分する。 3. 樹木類のキクイムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
カイガラムシ類	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は6～7月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

ひゅうがみずき・とさみずき

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャノマルカイガラムシ	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は5～6月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

ピラカンサ

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
モンクロシャチホコ	1. 若齢幼虫は葉裏に群生するので、枝ごと切り取って処分する。 2. 発生については、さくらのモンクロシャチホコの項を参照する。 3.樹木類のケムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

ま さ き

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
モザイク病	1. さし木増殖を行うときは、健全株からさし穂を採る。
チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキの項を参照する。
ホタルガ	1. 若齢幼虫は葉裏にいるので捕殺する。 2. さかき・ひさかきのホタルガの項を参照する。
アメリカシロヒトリ	1. 若齢幼虫は葉を綴って群棲しているので、被害枝を切り取り処分するか捕殺する。 2. はなみずきのアメリカシロヒトリの項を参照する。 3. 樹木類のアメリカシロヒトリに適用のある殺虫剤を用いて防除する。

ま　つ　類

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
すす葉枯病	1. 保水力の低い土壌や表土の薄い畑では栽培しない。 2. 大気汚染のひどいところでは栽培しない。
皮目枝枯病	1. 根の障害、風害、その他の原因によって樹勢が衰えると発生しやすいので注意する。 2. 病枝は切り取って処分する。
こ ぶ 病	1. コナラ、ミズナラ、クヌギ、カシワなどは伝染源となるので、できるだけ同一畑に植えないようにする。 2. 1～2月に枝はできるだけ切り取って焼却する。
す す 病	1. 発生後カイガラムシ類、アブラムシ類を防除する。 2. 通気不良な多湿地で発生しやすいので、このような場所での栽培は避ける。
モモノゴマダラノメイガ	1. 幼虫が集団で生息している巣を枝ごと切り取り処分する。 2. 若齢幼虫発生期は7月上旬及び9月である。 3. ゴヨウマツ、ヒマラヤシーダーの被害が大きい。
マツノシンマダラメイガ、マツアカマダラメイガ、マツズアカシンムシ	1. 被害新梢を幼虫ごと切り取り、処分する。 2. 産卵期は5～6月、若齢幼虫期は5月～6月である。
カミキリムシ類	1. 成虫は見つけ次第捕殺する。 2. 成虫発生期は5～10月である。 3. 樹木類のカミキリムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
キクイムシ類	1. 被害を受けた枝は切り取り焼却する。 2. 樹木類のキクイムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

もくせい・ひいらぎもくせい

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
マエアカスカシノメイガ、チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 幼虫発生期は以下のとおりである。 マエアカスカシノメイガ：5～10月　チャハマキ：5～10月

も ち の き

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
チャハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 発生については茶のチャハマキの項を参照する。
ツバキワタカイガラムシ、ルビーロウムシ、トビイロマルカイガラムシ、チャノマルカイガラムシ	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は以下のとおりである。 ツバキワタカイガラムシ：6月 ルビーロウムシ：6～7月 トビイロマルカイガラムシ・チャノマルカイガラムシ：5～6月 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
ツノロウムシ	1. 幼虫発生期は6～7月である。 2. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

もっこく

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
す す 病	1. カイガラムシ類、アブラムシ類を防除する。 2. 排水不良な多湿地で発生しやすいので、このような場所での栽培は避ける。
アブラムシ類	1. 新梢伸長期に発生する。 2. 樹木類のアブラムシ類に適用のある殺虫剤を用いて防除する。
ツバキワタカイガラムシ、ルビーロウムシ、チャノマルカイガラムシ	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は以下のとおりである。 ツバキワタカイガラムシ：6月 ルビーロウムシ：6～7月 トビイロマルカイガラムシ・チャノマルカイガラムシ：5～6月 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

やなぎ類

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
す す 病	1. カイガラムシ類、アブラムシ類を防除する。 2. 通気不良な多湿地で発生しやすいので、このような場所での栽培は避ける。
有殻カイガラムシ類(ヤナギワタカイガラムシ)	1. 枝や幹に固着した介殻を削り取る。 2. 幼虫発生期は6月である。 3. 樹木類のカイガラムシ類幼虫に適用のある殺虫剤を用いて防除する。

や ま も も

病害虫	防除方法及び防除上の注意事項
ヤマモモハマキ	1. 若齢幼虫のうちに巻葉ごと切除する。 2. 幼虫発生期は4～10月である。